

## 第3ブロック研究部

令和7年度 研究主題  
遊びの育ちと小学校教育とのつながりを考える  
～幼児が夢中になって遊ぶ姿から～

17園で共同研究をしています！

愛珠 銅座 玉造 中大江 桃園 南 九条 鞆 日吉 三軒家西  
日東 立葉 粉浜 住吉 墨江 玉出 天下茶屋

### 9月研究部会 令和7年9月17日(水) 粉浜幼稚園

住之江区 粉浜幼稚園の研究保育に参加し、研究討議を行いました。幼児が夢中になって遊んでいる姿や遊びの中で育っているものはどのようなものか考え、共有しました。

また、それぞれのグループごとに1人、個人の遊びの様子を追ってビデオ撮影した映像を見ながら、幼児が夢中になって遊ぶ姿や育ちについても共有しました。

#### 【研究討議の視点】

- 視点① 夢中になって遊んでいる姿はどのようなものか
- 視点② 遊びの中で育っているものはどのようなものか

#### 「ぐねぐね道の修行」遊ぶ

##### 視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・川のイメージをもち、川を渡るための水グモ（手づくり遊具）やポックリを使って渡る
- ・コースを変えたり、難易度を変えたりして何度も遊ぶ
- ・自信があるルートを選んで通る
- ・へびを動かして、スリルを味わいながら遊ぶ
- ・友達と交代しながらへびを動かし、繰り返し遊ぶ
- ・タイミングを見てへびを動かす
- ・へびを動かすこと自体が楽しく何度も動かす
- ・5歳児が4歳児にへびの動かし方を説明する
- ・子ども同士でルールを決めて遊ぶ

##### 視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・イメージを広げる
- ・全身を使って動く、力を調整する
- ・満足感・達成感
- ・相手の動きを予測し、タイミングを見計る
- ・相手を思いやる気持ち
- ・思いを伝えたり、相手の思いを聞こうとしたりする
- ・折り合いをつけようとする
- ・決まりや必要性などに気付き、折り合いを付ける
- ・課題を解決しようとする



### 「クモの巣くぐりの修行」をする

#### 視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・ ペットボトルの位置を調節して自分たちでコースをつくる
- ・ ゴムに触れないように、上下左右をよく見てゆっくり進む
- ・ ゴムに付いた鈴が鳴らないように、気を付けながら動く
- ・ 友達同士でアドバイスし合い、そのアドバイスを聞いて、試してみる
- ・ 自分で目標をもち、くぐったりジャンプしたりして何度も挑戦する
- ・ うまくいったコースを繰り返し挑戦する
- ・ 満足するまで遊び続ける
- ・ 5歳児の姿をよく見た後に4歳児が挑戦する

#### 視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・ 試行錯誤する
- ・ もっと難しくしたいと考えたり工夫したりする
- ・ 助け合う気持ちや、友達を応援する気持ち
- ・ 失敗を恐れず挑戦する
- ・ クモの巣に当たらないようにする体の使い方を考える
- ・ 多様な体の動き
- ・ 満足感、達成感、集中力、思考力



### 「忍者の休憩所」で遊ぶ

#### 視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・ どうすればお客さんが来てくれるかを考え、商品を無料にしたり、配達をしたりして、よく聞こえるように呼び込みをする
- ・ 調理スペース、イートインスペースなど、それぞれの場所で存分に遊ぶ
- ・ 友達と役割分担する
- ・ 店屋になりきり、客(友達や先生)とのやりとりをする
- ・ 自分がしている遊びを、友達や教師に知らせる

#### 視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・ 遊びを変化させる
- ・ 自分の経験を遊びに生かす
- ・ 協同して遊びを進めていく
- ・ 友達とやりとりをする
- ・ 言葉で伝える
- ・ 友達と一緒に遊びのイメージを共有する



### 「いっぽんばし・はしご・ころころの修行」をする

#### 視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・ 忍者になりきって、素早く移動する
- ・ 歩いて渡る、素早く渡る、這って渡るなど、いろいろな渡り方をして繰り返し遊ぶ
- ・ いろいろな動物になりきって平均台を渡る
- ・ 巧技台からマットに跳ぶときに、目標物に向かって前回よりも遠くに跳ぼうとする

#### 視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・ 体幹
- ・ 体の使い方
- ・ バランス感覚
- ・ 順番や安全に遊ぶためのルールなどを守ろうとする気持ち



## 「手裏剣・けむり玉の修行」をする

### 視点① 〈夢中になって遊んでいる姿〉

- ・ 投げるものの形によって、後ろ向きから投げる、回って投げるなど、投げ方を変える
- ・ 的に当てたり、輪にくぐらせたりしようと、投げ方を工夫しながら何度も挑戦する
- ・ 友達の投げ方を真似る

### 視点② 〈遊びの中で育っているもの〉

- ・ 素材や形で飛び方が違うことに気付く
- ・ 投げる力や方向を調節する
- ・ 自分なりに投げ方を工夫する
- ・ 諦めずに何度も挑戦する



## 指導講評

大阪市教育委員会事務局指導部初等・中学校教育担当 総括指導主事

### ○研究保育について

- ・ 保育指導案の作成では、幼児の実態や目指す子ども像、具体的な取組と、クラスの実態と教師の願い、本時のねらいや教育的意図をもった働きかけとの整合性を確認することが大切である。
- ・ 粉浜幼稚園は、今年度、住之江区の住之江運動遊びプログラム事業に取り組んでおり、幼児の育ちや学び、目指す子ども像に沿った活動が展開されている。教職員も、自身の資質向上につなげる姿勢で実践していることが印象的であった。
- ・ 研究討議では、幼児の姿を動画で確認し、多面的に育ちを読みとりながら意見を共有することで、動画を通して細かい表情や動きにも気付き、新たな学びや共感が生まれる場となった。

### ○子どもの育ちや学びを捉え直すための3つの問い

#### 【過去】

これまで大事にしてきたことは何か

#### 【現在】

現在取り組んでいることは何か

#### 【未来】

今後取り組みたいことは何か

- ・ 過去・現在を振り返って考えることで研究の取組の方向性が明確になる。教師同士で語り合って言語化し、未来を共有することが重要である。

### ○幼稚園教育要領の内容と小学校教育との接続

- ・ 幼児教育では、何かをできるようになる「スキル」ではなく、幼児が試行錯誤しながら学ぶ「プロセス」を重視しており、学びの芽生えを大切にしている。小学校教育では知識・技能の習得も重視されるが、幼稚園での経験を自然につなげることが重要である。また、幼稚園と小学校の教員が、子どもの姿を中心に教育の違いを理解しつつ情報を共有し、つながりを意識したカリキュラムづくりを行うことも大切である。

## 学んだこと

- ・ 幼児の興味や姿に合わせてイメージを広げて遊べるような環境を構成し、働きかけていることで、幼児が繰り返し遊ぶ姿に表れていた。繰り返し遊ぶ中で、工夫したり、友達と遊びを楽しんだり、気持ちの折り合いを付けたりするなどの育ちにつながっていくことを学んだ。
- ・ 研究討議では、個人の姿を追った動画を見て話し合った。幼児の細かい表情や動きから、個人の育ちがよく分かり、幼児理解が深まった。
- ・ 個々の育ちに焦点を当てて教育していくことの大切さを再確認できた。